

## 教育プログラム・コースの概要

|                         |  |       |       |       |       |       |   |
|-------------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 大学名等                    | 三重大学大学院医学系研究科  |       |       |       |       |       |   |
| 教育プログラム・コース名            | ライフステージに応じた放射線治療・集学的診療を実践する人材養成コース   |       |       |       |       |       |   |
| 対象者                     | 生命医科学専攻 博士課程   |       |       |       |       |       |   |
| 修業年限（期間）                | 4年   |       |       |       |       |       |   |
| 養成すべき人材像                | がん治療において、高精度放射線治療や粒子線治療の知識を修得し、各々の患者に対して最適な放射線治療を提供でき、また手術や薬物療法の知識も兼ね備えた最適な治療を検討できる人材を育成する。  |       |       |       |       |       |   |
| 修了要件・履修方法               | コース共通科目6単位以上、分野科目24単位以上、計30単位以上を履修し、本大学院学位論文審査に合格すること。   |       |       |       |       |       |   |
| 教育内容の特色等（新規性・独創性等）      | 通常の放射線治療に加え、高精度放射線治療やイメージガイド下の小線源治療の教育・研修を行う。また多職種からなるカンファレンスに参加し、チーム医療を実践する。研究面では、画像診断と放射線治療の予後や有害事象との関連などについて取り組んでいる。また粒子線治療施設と連携し、粒子線治療の研究及び研究を行っている。 |       |       |       |       |       |   |
| 指導体制                    | 高い専門性を持つ放射線治療科スタッフ（放射線治療専門医、医学物理士等）、および関連診療科の専門医による指導体制が準備されている。   |       |       |       |       |       |   |
| 教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想 | 次世代を担う放射線治療医として大学病院・関連病院に勤務し診療にあたりるとともに、臨床研究を継続する。放射線治療専門医資格を取得する。   |       |       |       |       |       |   |
| 受入目標人数                  | 対象者  | H29年度 | H30年度 | H31年度 | H32年度 | H33年度 | 計 |
|                         | 生命医科学専攻博士課程  | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 5 |
|                         | 計  | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 5 |